

みんなで話そう、ちょうふの自然



前回のようす，上・丸太切 下・パネル展示

2月11日、今年で5回目となる環境市民懇談会・全体会が開催されます。今回から「みんなで話そう、ちょうふの自然」と銘打ち、調布の自然環境に関わっている方、また少しでも自然環境に関心のある方たちが集まって日頃の思いを話し合いたいと思います。午前には地域に目を向けた学際的な環境倫理で知られる鬼頭秀一先生にお越しいただき、「都市近郊の環境保全と市民活動」についてお話をさせていただきます。午後はそのお話を踏まえ、日頃感じていること、疑問に思っていることなどをとことん話し合しましょう。また11階みんなの広場では各活動グループの活動のようすや成果を展示しています。ご覧になって少しでも興味を持てる活動がありましたら迷わず参加してみてください。一歩踏み出せば何かが変わる。是非足をお運び下さい。

2006年2月11日(土) 10:00～16:00 たづくり8F映像シアター

講演会 「都市近郊の環境保全と市民活動」 講師 鬼頭秀一

討論会 「調布のみず・みどり・景観～私はこうしたい！」

活動紹介 たづくり11F みんなの広場にてパネル展示 11日～17日

突然ですが ちょうふの自然 クイズコーナー

Q1. 野川の水はどこからくるの？

- A: 奥多摩の山から
- B: 武蔵野台地からの湧水
- C: 多摩川からの用水



寒風を切って自転車で出かけてみませんか？誰でも子供の頃、「この川のはどこへ行っているのだろう」と疑問に思ったことありますよね。今年は何羽のカモが飛来したかしら？水かさはどうかな？

Q2. 調布市内には国分寺崖線など、崖が多くありますが、崖のことをなんと呼ぶでしょう。

- A: ハケ
- B: オケ
- C: ミケ



染地にある根川にもこの名前がついている場所があります。昭和の初め頃は崖下である根川の畔には湧水を利用してワサビ田もあったとか。今では想像もつかない光景です。今も残る国分寺崖線の大事な景観、残したいですね。

答えは3面に

入間・樹林の会

12月10日、「リースの材料集め」をテーマに児童館の子どもたち24人と大人4人、樹林の会の6人が参加しました。

落ち葉が大量に敷き詰められているので、まず、落ち葉かきからはじめました。子どもたちは、大喜びで落ち葉を集め運んでいました。その後は、マテバシイのどんぐり、マンリョウ、アオキ、ハナホウズキの紅い実、ハナミョウガの青い実、エノキの黒い実、落ち葉など材料探しに夢中になっていました。地域センターに戻り、児童館で用意したウンリユウヤナギ・ブドウヅルのリースに採集してきた木の实や、モール・ベル・紙粘土・リボンなどをあしらってリースを完成し記念撮影しました。子どもたちから元気をもった活動になりました。



夢中になってのリース作り



12月18日、風が強く落ち葉舞う寒い日のお楽しみ会となりました。落ち葉だめを作った場所にシートを敷き、芋煮鍋を囲んで自治会からのお二人、赤ちゃんをはじめ13人が参加しました。

炭火で焼いて食べるおもちゃクサヤ、芋煮鍋や牛乳ベースのお酒に温まり、火を囲みながらのアウトドアでの歓談は本当に楽しいものです。葉が落ちた木々が風に揺れる様や、樹間から見える青空を座って下からゆっくり眺めることは、作業に追われる普段ではなかなかないことです。密生した樹林もこの時期だからよくわかります。来年の計画や将来像にも話しがはずみ1年をしめくくのお楽しみ会になりました。

1月には、植物観察と全体像づくり、2月の全体像について話しあう予定です。



12/18新しいメンバーが参加

1月15日、植物観察の後、地域福祉センターで伐採するマテバシイの検討と、樹林地の全体将来像について意見をだしあいました。マテバシイの森を明るくすることについても意見交換をし、2月に再度検討していくことにしました。

根本さんの「ブチ違いシリーズ」講座は、芽をだしたハコベとヤエムグラをとりあげ、葉のつき方と繊毛の生え方の違いを観察しました。(安部)

環境モニター

12/3(土)市役所会議室にて植物標本の同定とオリジナル図鑑について

参加者:市民5名+事務局2名+小澤講師

AM: 植物標本の同定と整理

PM: 保全課 小豆畑課長より、ワンドが造成された経緯や多摩川の河原のなりたちについてうかがった。その後オリジナル図鑑作成にむけて掲載候補になっている植物についての説明文を考えた。それぞれ書く人によって個性があり、なかなか面白い。

1/7(土)多摩川上河原堰付近での観察

参加者8名+事務局2名

今年の冬はかなり寒い。真冬なので当然とはいえ、昨年より緑色の植物が少ないようだ。コマツヨイグサやヘラオオバコの口ゼットが貼り付いていた。だが枯れ草と落葉のおかげで冬鳥の観察ができた。



オオバン・カイツブリ・サギ・マガモ・コガモ・ホオジロ・アオジ・カワラヒワ・セグロカモメ。

高性能の望遠鏡を持参の会員がいてよく観察することができた。鳥好きの方にももっと参加してもらいたい。

(K)

カニ山の会

12/10(土)雑木林塾の受講生が2人参加して下さり、8名での活動。

まず樹林の現状を見て回った。エゴノキ、ゴンズイを枯らさないよう、不要なシュロをもう少し伐採したいのかんそう。その後先月に引き続き北東角地下刈り(主に笹)をし、刈り取った笹がきたならしくならないよう、落ち葉溜め風に杭を打ちその中へまとめた。落ち葉のように簡単に堆肥にならないので、次回、芋などを焼く燃料とすることにした。最後にカマを丁寧に砥いだ。初心者にはなかなかむずかしい。初参加の方も「又参加したい」との感想があり心強い。

1/7(土)曇り 参加6名

今にも雨が降り出しそうな天候。前回の笹をカマドに運ぶ。かなり量があると思ったが、よく乾燥していて2

時間でちょうどよく燃え尽きた。その間、お茶を飲みながら全体会の準備などについても話をする事ができた。終わるころには待っていたように小雨が降り出した。(K)





新米を食べる会

卒業おめでとう。一年間お疲れ様でした。

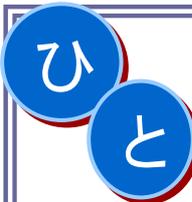
締めくくりの授業として 12 月 3 日はカニ山で調布の新米を食べる会と炭焼き体験をしました。翌日 4 日は落ち葉集めと卒業式をしました。卒業式での子供たちのレポート発表は、とても立派でした。レポートの中の「調布の自然環境を守るために自分にできることは」という題では、子供たちにも「ごみを減らし、リサイクルを心がける」という意識が高かったことがとても心に残りました。

4 日の堆肥作りではカニ山から集めた落ち葉を積み上げ、堆肥の切り返しをしました。例年のように、たくさんのカブトムシの幼虫が出てきます。子供たちは数匹ずつ持ち帰りました。無事親虫になりますように。

今年の田んぼは冬季湛水(冬も田んぼに水をはりつづけること)をします。この農法は調布では初の試みではないでしょうか。早朝などの寒い時間に見に行くと、田んぼから湯気のように「もや」が立ち昇り、不思議な光景に出会えますよ。今年の稲作の感想ですが、私が教えなくても大丈夫なくらい、みなさん自分たちで見事に作業を進められていたことがとてもすばしかったです。

まだ、堆肥の切り返し作業などは続きますが・・・。

今から新しい子供たちに出会えることを楽しみにしています。
(田んぼの学校 近藤)



畑から発信

関森

「高い建物を建てないで下さい。農作物に影響しますから」と訴えてから三年が過ぎました。私の家の周辺には、十四階建てと八階建てのマンションがそびえたち農業がやりにくい環境へと変わってきました。建築基準法が変わり高層マンション等が建てやすくなったのです。私共の畑はそれらの建物の影響で日照が悪くなったり、強風が考えられ、やむなくハウスを建てかえました。このようなことでボヤいている人がまだ他にもおられるのではないのでしょうか。周辺でもこの間まではいろいろな野菜が次々と採れていた畑にいつの間にかブルドーザーが入っていたり...仕方のないことなのかも知れませんが調布の環境の変化の早さに驚かされます。

ところで私がぜひ残して欲しい風景がひとつだけあります。それはカニ山から柏野小学校へ下ってくるあたりとその先に広がる佐須町の田畑一帯です。なぜか私自身ホッとさせられる場所で時々歩いては野菜達に元気をもらっています。その場所は何軒かの方が日本農業の原点でもある米を栽培している所でもあります。代かき、田植え、手入れそして収穫と世代を越えた方々が集まり貴重な米作りを体験している田んぼがあるのです。

このように調布の農業、環境、景観を考えた時それらを守ることの大切さを痛感せずにはられません。いまこそ調布のまちなみをどうしたら良いかみんなで真剣に考え論じ合い早急に方針を立てることが求められているのではないのでしょうか。



関森さん宅前の畑

市民参加の保全活動予定

調布市環境モニター

2/4(土) 10:00~13:00

場所：市役所3階環境部打ち合わせコーナー
内容：オリジナル図鑑作成作業(原稿書きなど)と全体会の準備。2月はフィールドの観察はありません。メンバーはいつでも募集中!

カニ山の会

日時：3/4(土) 10:00~12:30

場所：深大寺自然広場入り口集合(野草園前)

内容：東樹林の植物調査 図鑑等持参

2月は全体会と重なるためフィールド活動はお休み。原則第2土曜が活動日です。主にカニ山東樹林の保全活動と植物や樹木の調査を行っています。興味のある方は環境保全課又はカニ山の会:小島までお願いします。 k2-kojima@khc.biglebe.ne.jp

人間・樹林の会

日時：2/19(日) 9:30~12:30

場所：人間地域福祉センター集合

内容：伐採木の検討など

原則として毎月第3日曜に活動しています。関心のある方はぜひ環境保全課にお問合わせください。直接人間地域福祉センターに来訪可です。

若葉町第3緑地-保全活動

2/12(日) 10:00~12:00

集合場所：人間地域福祉センター

問い合わせ先：緑と公園課 0424-81-7081

はじまったばかりの活動です。ご参加下さい。

編集後記

今回は12月と1月の2ヶ月の活動の様子を紹介しました。ただし第3土曜がめずらしく雪で思ったような活動ができなかったグループもあったようです。でもこういう寒さ、冬らしくていいですね。



フィールド大好き、でもやっぱり寒い! あなたの寒さ対策は?

ダウン、または綿のキルトのベストを着用。とっても足が冷たければ靴にホカロンを。動くとして熱中すると暖かくなりますね。(本田)



私もつま先にホカロン派です。そして以前Sさんが持参されたホットワイン、これは温まりました。(モン)

フィールドに出るとき中にフリース、外にダウンやナイロン地の風を通さない素材といった軽装です。これが動きやすくあたたかいのです。室内でも、この服装で過ごして暖房の電気代を節約しています。(近藤)

- ・アンダーウェアにフリース(パタゴニアのアンダー用)を着る(雪山仕様です)
- ・動き回ったり、力仕事をします
- ・風があるときは、上下カップを着る
- ・たき火をする(小島)

絶対おすすめは足首ウォーマー! 襟首にマフラー、手首にリストバンド、そして足首には足首ウォーマー! ひざが冷えなくて足全体がポカポカします(ルン)

環境市民懇談会- 運営委員会

2/6(月) 18:30~20:30

場所：たづくり302

内容：2/11全体会(後援会+とことん討論)についての最終調整

調布の自然環境について市民と行政で話し合っています。興味のある方はどなたでも傍聴歓迎です。

環境市民懇談会- れんらく会

2/13(月) 18:30~20:30

場所：たづくり302

内容：活動グループ情報交換

市内で自然環境の保全活動をしているグループ・個人の情報交換の場です。これから活動を始めてみたいと考えている方もどうぞご参加下さい。

「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、話し合いなどの活動をしています。ぜひご参加ください。

発行：ちょうふ環境市民懇談会

連絡先:調布市環境保全課 tel 0424-81-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

調布市ホームページでカラー版がご覧いただけます